

図書館

今月のお知らせ

社会教育センター図書館
☎ 28・5449

休館 資料整理のため、3月31日(金)を、図書館をお休みします。

ゆめっ子のおはなし会

ボランティアグループによる楽しいおはなし会を開催します。
新型コロナウイルス感染症対策のため受付での体調チェック、入場制限等を行います。※必ずマスクの着用をお願いします。
とき 3月18日(土)午後1時30分～
ところ 社会教育センター幼児遊戯室
対象 小学校低学年、幼児

絵本の森

ボランティアグループによる大型紙芝居や絵本の読み聞かせを行います。ぜひ親子そろってご参加ください。
※必ずマスクの着用をお願いします。
とき 3月4日(土)午前10時30分
ところ 社会教育センター幼児遊戯室
対象 小学校低学年、幼児

新刊

児童書

おばけのしかえし

山本 孝 絵 内田 麟太郎 文(岩崎書店)
殿様におばけ退治をいつけられた豪傑がやってきて、次々とおばけたちをやっつけます。おばけの子供たちも怖くて震えています。豪傑にたちうちできるおばけはいるのでしょうか?『おばけのきもだめし』の続編。



一般書

水 本の小説

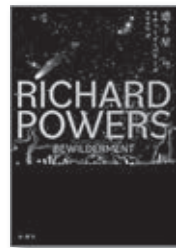
北村 薫 著(新潮社)
向田邦子、小林信彦、エラリー・クイーン…。本を愛する作家が、言葉と物語からあふれる力を掬いとり、その輝きを伝える〈本の私小説〉7篇を収録する。『波』掲載を書籍化。



一般書

惑う星

リチャード・パワーズ著 木原 善彦 訳(新潮社)
地球外生命体を探る研究者シーオの幼い息子ロビンは、母アリッサの急逝で情緒不安定になっていた。シーオは、知人の実験に息子を参加させ、生前のアリッサの脳のスキャンデータを元に、母の感情をロビンに体験させるが…。



一般書

世界の絶滅危惧食

ダン・サラディーン著 梅田 智世 訳(河出書房新社)
人類が長い年月をかけて築いてきた食文化や食物の多くが絶滅の危機に瀕している。世界各地の34の「絶滅危惧食」と、それらを絶滅から救おうとしている人々の物語を、環境破壊などの問題とともに描き出す。



豊山俳句クラブ

青山克己 選

寒椿止まったままの古時計

高木須磨子

雪の朝音を無くした庭がある

山下敬太

風に乗り風に転がる風の花

田村多喜子

白南天の白がかがやく散歩道

坪井昭子

長い湯や遠くに除夜の鐘を聞く

杉浦みどり

駄菓子屋に子ら集まりし寒の入り

水野真弓

冬ざるる野に集ひ来る風堅し

坪井径子

曇天や路面電車と鱈の街

谷崎 琴

コンビニの跡地そのまま冬ざるる

岡島 齋

降りそそぐ冬の光の喫茶室

青山とも子

運河暗し振れて雪の降りしきる

青山克己

編集後記

3月になり、卒業や卒業、人事異動など、新たな門出を迎える時期となった。3月は、大人も子どもも、新しい環境に身を投じることへの期待や不安を感じることも、この一年を振り返り「成長」を実感できる月でもあると思う▼豊山町にとっても、昨年4月に50周年を迎え、町民、事業者、関係団体の皆さまと力を結集し、様々な取組・挑戦を通して、大いに成長できた一年となった▼「ふれる・つながる・はばたく」をテーマにした50周年記念事業は、豊山町に関わる皆さまにとって、まちの魅力や誇りを育む機会となるとともに、次世代への礎を築く契機になったのではないかと思う▼今年度、素晴らしい50周年記念事業を実施できたのも、町民、関係者の皆さまを始め、協賛いただいた企業・団体・個人の皆さまのおかげである。より一層、皆様に支えられていること、そして、人と人のつながりの大切さを実感することができた▼とてもメモリアルだったこの一年を終え、更にその先の60周年、100周年に向け、豊山町としての新たな一歩を踏み出す。これからも「この町に住み続けたい」と思っていただけのように、皆様とともに、挑戦を続け、まちづくりを進めていきたい。